

2019年度の学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の定着を図り、基礎基本となる知識・技術を習得させる。 ・学ぶ楽しさを体験させ、自ら学ぼうとする意欲と向上心を抱かせる。 ・基本的な生活習慣を確立させ、節度ある生活態度を身につけさせる。 ・計画的にキャリア教育を推進して自らの在り方生き方を考えさせるとともに、進路目標を早期に設定させ、その実現に向けて全力で取り組ませる。 ・部活動、学校行事、HR活動等を通して健やかな心と体の育成に努め、たくましく生きる力を養う。 ・美化活動、ボランティア活動等を通して、奉仕の精神や社会貢献の意識を育てる。 ・家庭及び地域と連携し、信頼され特色ある学校づくりに努める。 ・円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。 		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>広報活動 (総務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な広報活動の展開とPTA活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生やその保護者の興味を高める学校案内を作成する。 ・ホームページを中心に、本校進学を志す中学生向けの広報活動をより一層推進する。 ・ホームページ等の広報活動の充実やPTA新聞「樗」をより魅力あるものへ改善し、信頼される学校づくりを進める。 ・教職員全員がPTAとの連携を一層強めることで、学校の活性化を図る。 ・保護者対象の研修会や進路講演会等を一層充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内は、管理職と担当者等と報告・連絡・相談を行いながら作成する。 ・ホームページを早く更新し、学校行事、部活動の状況、試合結果等の最新情報を掲載する。 ・広報活動では、生徒の活動する状況、PTA活動の様子がわかりやすく伝わるように創意工夫を行う。 ・保護者の期待に添うよう、他分掌と連携・協力を図りながら企画・運営する。
<p>授業の活性化 (教務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となる授業の実践をめざし、授業改善の取組を教員間で共有できるようにする。 ・公開授業週間を活用し、気軽にお互いの授業を参観できるような雰囲気作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観後に、参観者が授業者に直接感想やアドバイスを伝える「参観シート」を作成し、今後の授業改善の参考にできるようにする。 ・初任者研修や教員経験者研修の研究授業では、教科を超えて参観してもらえるよう呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観後の意見交換などを行う時間の確保のため、期間中は緊急以外の会議などは極力行わないよう留意する。 ・校外で行われる研究会や授業実践の発表会などに積極的に参加してもらい、教科で報告の時間を確保して、本校での授業改善に活かしていく。
<p>キャリア教育の 推進 (進路指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した情報提供を行う。 ・大学入試問題・各種テスト分析を適切に行う。(1～3年) ・主体的な進路選択への意識を高める。(3年) ・個々のキャリアデザインへの関心を高める。(2年) ・高校生活の基本となる、学習習慣の定着をはかる。(1年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路通信及び進路講演会を効果的に実施する。 ・模擬試験や進路適性検査を有効に活用する。 ・講座・進路検討会及び各種面談を充実させる。 ・学年と連動しつつ、継続的な啓蒙活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路通信や各種情報をもとに、生徒に提供する情報の充実をめざす。 ・検定・模試結果の分析テンプレートを作成する。 ・LT、総合的な学習の時間を有効活用する。
<p>交通安全 (生徒指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時間をきちんと守らせ、心と時間に余裕を持たせることにより、通学マナーの向上と交通事故防止を図る。自転車大切に扱い、自転車安全利用五則を遵守した通学マナーの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻防止指導と下校指導を強化し、心と時間に余裕を持って登下校させる。 ・自転車利用五則を周知徹底させる。 ・安全委員の活動を促して自発的な安全行動を引き出す。 ・交通安全教室を通して、交通ルール的重要性や命の大切さを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安易に遅刻をさせない雰囲気を作り出す。 ・指導体制を整え、職員全体で指導出来るようにする。 ・自他の命を大切にするとともに、将来を常に意識した指導を心掛ける。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
校内美化 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> 校内美化を推進し、奉仕の精神や社会貢献の意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 美化委員による全清掃分担区域の点検を行い、点検結果を清掃監督に報告させる。 職員会議や校内放送を利用して、職員及び生徒に対して、季節・天候などに応じた重点目標を示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動の重要性を担任や学年会を通して生徒に働きかける。 生徒一人ひとりの美化意識が高まるよう啓蒙活動を行う。
学校行事 (特別活動部)	<ul style="list-style-type: none"> 本年度から実施する体育祭と文化祭を合体させた学校祭を滞ることなくやり遂げる。 部活動時間の厳守。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事は、生徒が自らの手で企画・運営をしていく必要性を理解させる。 生徒の役割分担を明確にする 行事の運営側として時間に余裕を持った計画を立てる。 部活動の活動場所を巡回する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各行事の日程を考慮し、十分な検討時間を確保する。 集会等で誰が主役であるのかしっかりと意識できるような話をしていく。 早め早めに計画を提示していき、準備にしっかりと時間をかけさせる。 巡回指導も適宜行っていく。 部顧問との連携を密にとっていく。
読書活動 (図書情報部)	<ul style="list-style-type: none"> 読書啓発 (朝読の充実) 教科における図書館利用の活性化 (調べ学習等) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の図書館利用を促進し、朝読のより一層の充実を図る。 公立図書館の団体貸出を利用した教科活動を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書委員を活用し、季節の「図書館イベント」を充実させ、生徒を図書館に呼び込む工夫をする。 授業での調べ学習などの図書館利用方法を紹介し、支援する。
基本的な生活習慣の確立 (第1学年)	<ul style="list-style-type: none"> 豊明高校生として必要な基本的な生活習慣を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「朝読」指導を始めとして、授業規律の遵守や整理整頓など落ち着いて学習に向かう環境を作る。 授業を中心に、特別講座や模擬試験を交えながら、学習に向かう姿勢を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間や期限の厳守、挨拶の励行、身だしなみなど基本的なルールやマナーを守らせる。 課題の指示を的確に行い、自宅学習の習慣化を図る。
豊高生としての自覚を高める (第2学年)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣と学習習慣を確立し、高校卒業後のキャリアを見すえた高校生活を送らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「時間」「ルール」を守らせると共に「クラスメイトと仲良くできる」よう指導する。 学校行事へ積極的な参加を促し充実感を生み出す。 個々に応じたキャリアデザインを考える萌芽的取組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行で時間やモラルを自ら守れるように半年かけて指導していく。 キャリア教育を実践するにあたり、教員にできる事と、外部委託が有効な事を仕分けして内容を充実させる。 よい発表するために、準備時間を十分に取れるよう配慮する。
進路指導 (第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> 教科指導の充実を図り、自学自習の学習習慣を定着させる。 生徒が主体的に自らの人生を切り拓くことができるように前向きに取り組む姿勢を引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律を徹底し、毎日の授業を大切にする。 特別講座や土曜学習会への積極的な参加を促す。 試験結果を分析して学習指導や進路指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部との連携や、個人面談などを通じて生徒の進路目標に応じた指導を行う。 学年全体で進路目標を実現するために努力する雰囲気作りを大切にする。
いじめ防止対策の推進 (いじめ不登校対策委員会)	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止に係る取組を充実させる。 いじめの早期発見、適切な事案の対処に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、生徒が主体となっていじめ防止をテーマとした活動を行う機会を設ける。 いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。 いじめアンケートの実施方法や、その後の対処の在り方について検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がいじめ問題をはじめ、人権についても主体的に考え、自らに関わる問題と捉えられるようにする。 学校いじめ防止対策組織の役割を生徒や保護者に周知することで、生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境づくりを行う。 生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法、その後の組織的な対応の在り方について検討する。 情報やアンケート結果に偏らず、職員自ら生徒をバランスよく観察する力量を上げる。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
勤務管理の適正化	・業務の適正化を図り、教職員の健康障害防止につとめる。	・在校時間等の状況記録の集計結果等を衛生委員会等で確認し、1か月間の時間外労働が80時間を超える教職員に対して、そのつど面接指導の希望の有無について確認を行う。	・教職員の年次休暇の計画的な使用を促進するための環境整備に努める。

学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に取り組むための授業改善 ・基本的生活習慣の確立と通学マナーの向上
--------------------	---